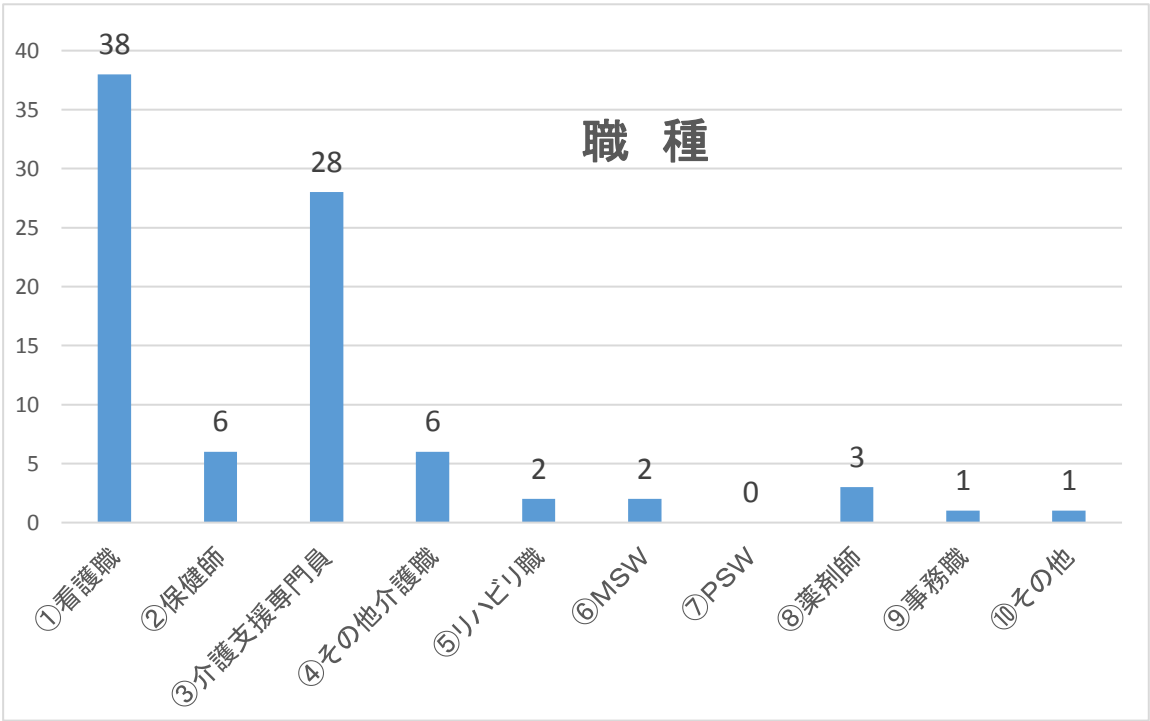


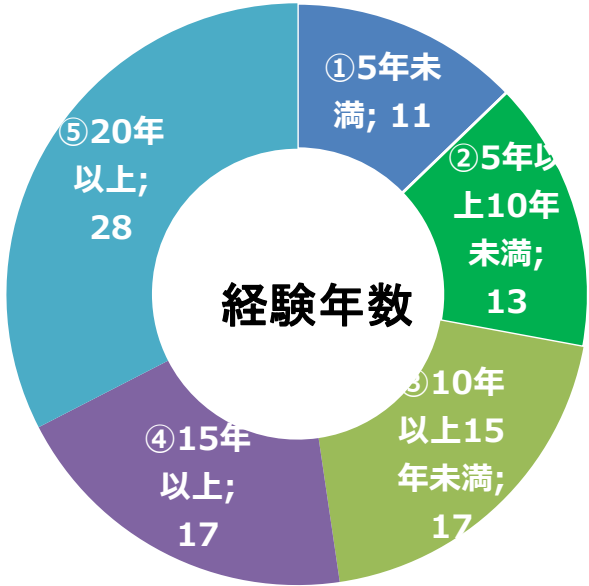
第1回 北空知地域入退院支援研修会（H30. 9. 28） 参加者アンケート集計結果

(1)職種	回答数	率
①看護職	38	43.68%
②保健師	6	6.9%
③介護支援専門員	28	32.2%
④その他介護職	6	6.9%
⑤リハビリ職	2	2.3%
⑥MSW	2	2.3%
⑦PSW	0	0.0%
⑧薬剤師	3	3.4%
⑨事務職	1	1.1%
⑩その他	1	1.1%
計	87	100%

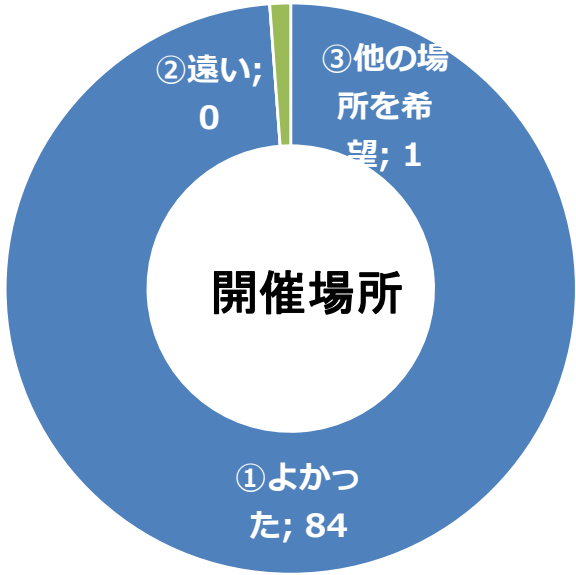
研修会参加者数 103名 アンケート回答者数 87名



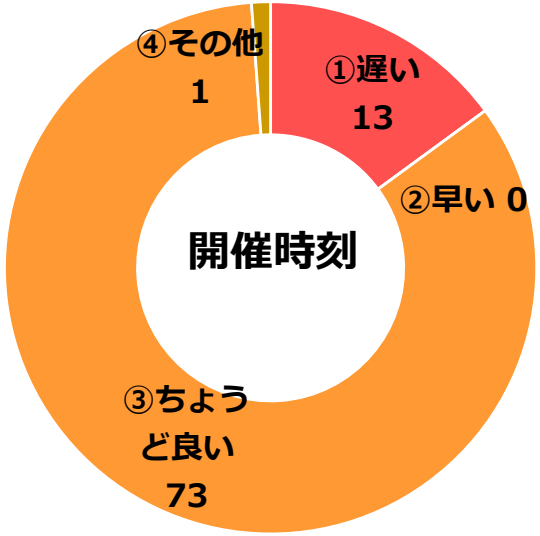
(2)経験年数	回答数	率
①5年未満	11	12.79%
②5年以上10年未満	13	15.12%
③10年以上15年未満	17	19.77%
④15年以上	17	19.77%
⑤20年以上	28	32.56%
計	86	100%



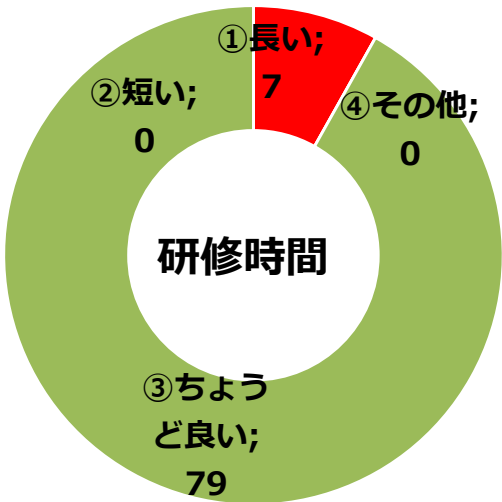
(3)開催場所	回答数	率
①よかった	84	98.82%
②遠い	0	0.00%
③他の場所を希望	1	1.18%
計	85	100%



(4)開催時刻	回答数	率
①遅い	13	14.94%
②早い	0	0.00%
③ちょうど良い	73	83.91%
④その他	1	1.15%
計	87	100%



(5)研修時間	回答数	率
①長い	7	8.14%
②短い	0	0.00%
③ちょうど良い	79	91.86%
④その他	0	0.00%
計	86	100%



①看護職の感想等

2-(1)研修を終えて、あなたが学んだこと、または明日から実践してみようと思ったことをお書きください。	2-(2)研修会全体を通してのご意見・感想をお書きください。
・在宅支援なので自宅の情報をもっと得られるように出来ればいい。	・いろいろな部署でのアセスメントシートや情報用紙があるけど統一したり共有したり出来ないものか・・・？
・多職種の意見を交換することができてよかったです。本人と家族の思い、介護力が大切であると学びました。	・様々な考えを聞き、考えることが出来て今後につなげられると思い、よかったです。
・チームで動くことの大切さを実感しました。 ・情報を共有しながら何がその人にとって大切かを考えていきたいです。	・情報交換出来て良かったです。
・様々な職種の方と意見交換ができて良かった。	
・誰の問題点なのか、誰が困っていることなのか、明確にするアセスメントが大事。医療者目線ではなく、ご本人、ご家族の視点でアセスメントをしてきたいと思いました。	・意見が発言しやすい雰囲気です事例検討ができたと思います。
・いろいろな施設の人達と交流ができ、楽しかった。それぞれの施設での現状、問題点が聞けて意識が変わった。退院後の生活のイメージできる情報収集が大切であることを感じた。	
・包括のNsではありませんが、入退院支援を包括病棟に任せるのではなく、急性期でも退院を意識して関わり援助していく必要があると学びました。	・日々入退院に係る機会は少ないですが、今回の学びを看護に活かしていけたらと思いました。ありがとうございました。
・いろいろな考えを知ることができ、楽しかった。	・事例紹介の続きもスライドのみでなく、手元に資料がほしかった。
・患者さんや家族と関わる時間を増やして情報収集していく。	
	・多職種の方とお話しが出来て良かった。顔見知りになったことで、お互いの情報共有がよりしやすい環境になった。
・情報共有の重要性和今後も自ら情報を提出し収集していきたい。	・色々な職種の方と話し合う場をありよかったです。
・情報共有の大切さをどの職種の人も同じように感じていたことを知った。入院時からかわりを持ちたいと思う。	
・情報共有の大切さを改めて感じる事ができました。	

・自分の知っているPtのことを振り返り、今後どんなことをして行けば良いか、たくさん意見を聞けて学びになった。どの職種もPtの情報をほしがっていることがわかった。訪看から今Ptがどんな生活をしているのか聞くことができて驚いているので、その後の情報を知れるとNsのモチベーションも上がると思った。	
・病院Nsとケアマネや訪看との情報共有を密に病院にもっと外部の関係者に入ってもらい面談を行ってもらう。	
・今後も多職種連携していきたいです。	
・在宅に足を運んでみたい。	・グループワーク時の声の聞こえないのが少し大変でした。
・各職種の思いが聞けて良かったです。	
・入院時から連携をとっていくこと。	・他の職種と顔を合わせて話ができ良かった。
・家族からだけでなく、ケアマネ、訪看からも情報を得る。こちらから積極的に関わっていきたい。ケアマネはたくさん情報を持っているので、早いうちに連携を取り合う。	
・多職種連携	
・多職種交流って必要だなと感じました。顔の見えるカンファレンスが実現していけるよう病棟でも話し合いたい。	・いろいろ意見が出て楽しかった。
・患者さん家族の思いに寄り添う、気持ちをしっかり聞いてあげる。病棟と連携を密にする。	・いろいろな人と顔見知りになる。
・それぞれの職種で一人の方を気にかけているので早めにカンファレンスをしていく必要性を感じました。	
・みんな熱い思いで頑張っている地域で働けて幸せです。日常的にうまく行かない事もありますが、顔見知りになり話すことで、もっと本人、家族の思いに寄り添ったすばらしい退院支援ができると思います。頑張ろう！	・良かった。
	・大変よい研修でした
・本人・家族の強みを見つけてあげるとの大切さ再確認できた。今いるところで生活者としての対象を見て必要な支援をしていきたいと思う。	・事例の情報を持っているグループと持っていないグループとでは、深め方が違うと思う。やはり同じ情報を伝えて話し合うに向かうべきかと思う。私のグループは情報がないグループでしたので、非常に残念でした。みんな深い話を望んでいました。
・病院と施設、多職種との連携の重要性を学んだ。	・研修内容のマンネリ化が気になる。

③介護支援専門員の感想等

2-(1)研修を終えて、あなたが学んだこと、または明日から実践してみようと思ったことをお書きください。	2-(2)研修会全体を通してのご意見・感想をお書きください。
・ケアマネとして、本人・家族の可能性をどれだけ信じて、そして気づいてあげられるかが大切だと改めて感じた。	・定期的に管内の多職種との交流・意見交換の場と学びの場として開催してほしい。
・一人のご利用者に関わる職種間でもっと関わっていきたい。	・地域一体感を感じられる研修でした。色々勉強になりました。ありがとうございました。
・入院中からケアマネも介入することを心掛けたいと思いました。	
・他職種との連携が大切だと思いました。気軽に話してみたいと思いました。	
・他職との連携、きめ細やかな情報提供	・とても勉強になりました。楽しい研修でした。ありがとうございました。
・いろいろな具体的な話を聞くことが出来、気づきがありました。業務に取り入れていこうと思います。	
・できることは少しずつでも実践していきたいなと思いました。	・色々な職種とのGWはとても勉強になります。
・入退院時の病院とケアマネの情報の共有の大切さを再認識した。 ・次回情報提供する時に、病院側、看護する側がどんな情報を必要としているのか、考えながら提供書を作りたいと思う。	
・書面のやりとりも必要だが、顔の見える関係も含め、積極的にHPに出向こうと思いました。	・ありがとうございました。
・多職種の意見を聞くことが出来よかった。	
・より良い情報交換ができるようにしたいと思いました。	・どうもありがとうございました。
・みんな情報共有したいというのは分かったが、どういうふうにしたらいいのかわからないのでシステム化できるといいと思いました。	・まわりの声でグループ内の声がほとんど聞こえません。毎回です。
・細かな情報の共有、本人家族の思いへの取り組みを十分考えて支援体制を考えていくことの大切さを感じました。	・大変参考になりました。多職種の方々の本音をうかがえたように思います。
・様々な職種と情報交換できた。良い機会だと思います。	
・退院時に積極的、訪問の依頼や病院カンファの依頼をさせていただきたいと思います。ありがとうございました。	

・積極的な情報提供と共有	・グループワークがもっとしやすい(進行)方法はどうか。
・顔の見える関係づくりに役にたった。	・この研修会の継続
・タイムリーな情報交換は必須	・顔の見える関係を作る。多職種で連携が大事。
・もっと積極的に情報交換できるようにしたいと思います。	・研修を通してそれぞれが情報共有しやすくなる とよいと思いました。今後も研修をお願いします。
・事例検討中心の有意義な研修でした。あっという間の時間でした。積極的な情報提供、情報収集を行っていきたいと思います。	

○その他の職種の感想等

(②保健師 ④その他介護職、⑤リハビリ職、⑥MSW、⑧薬剤師、⑨事務職、⑩その他)

職種	2-(1)研修を終えて、あなたが学んだこと、または明日から実践してみようと思ったことをお書きください。	2-(2)研修会全体を通してのご意見・感想をお書きください。
2	・先入観を持たず、出来ることに視点を向けた支援に努めたい。本人、faの意向をベースにすること。	・他の職種の方と交流できたことも良かったです。
2	・他の職種の方の見方、考え方がわかりよかったです。入院したら病院に任せきり、包括病棟だからと言っても安心せずチョコチョコ顔を出して情報やりとりできたらと思いました。	
2	・入院した利用者さんの情報提供だけでなく、キーパソン、今回のケースであれば、妻の状況(妻も病気の対応に不適應だったetc)も共有していくことが必要だと一つ分かりました。	
2	・グループワークがそれぞれの立場で前向きに検討できてよかったです。皆さんの意見からしっかり本人、家族と向き合っていこうと決意できました。	・充実した研修でとてもよかったです。
2	・待っていないで情報を得に行く、伝えるに行く。	・多職種で事例検討良かったです。これからも続けていただきたいです。CMの思いを知ることができました。
2	・日々連携を図ること	・事例の退院後の状況が聞けたことで、より事例について深まりました。
4	・入院中の情報を積極的に把握すべきと思う。	・多職種の方と話し合うことはあまりないので、よい経験となった。テーマが難しかった。
4	・積極的に多職種との連携を取っていこうと思いました。	
4	・色々な業種の方の苦勞がわかりました。遠慮せずにどんどん情報共有のため動くことが大事。	
5	・情報共有が大切だと改めて感じた。	・今回の事例でリハビリの関わりで在宅の状況、環境への取り組みが足りないと感じた。
5	・様々な職種の方々の考えが聞けて良かった。多職種が集まる機会がここ数年増えてきて顔見知りが増えてきている。今後、現場スタッフの介護スタッフが交わる機会があればさらに良いと思います。	
6		・事例紹介のレジュメがあえて少なくしたのかもしれないのですが、もう少し詳しい情報を載せていただいた方がグループワークしやすいかと思いました。

8		・院内外の困りごとが知れてよかった。
8	・情報共有	・月末最後の平日は仕事が多いので、月末以外の日程でお願いしたいです。